

平成31年度予算見積調書

課室名：消防防災課
 担当名：消防広域担当
 内線：8173

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B14	埼玉県特別機動援助隊教育訓練等事業費		一般会計	総務費	防災費	消防防災費	埼玉県特別機動援助隊訓練費	
事業期間	平成18年度～平成37年度	根拠法令	消防組織法第29、30、43条		宣言項目	03	大地震など危機への備えの強化	
					分野施策			
1	事業概要		5 事業説明					
	大規模な災害発生時に県民の生命を守るため、平成18年7月発足の埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)及び緊急消防援助隊の効率的な運用を図る。実災害における救出・救助の連携強化のため、絶えず訓練を行う必要がある。		(1) 事業内容 ア 埼玉県特別機動援助隊の機能強化を図るために装備を充実する。 847千円 イ 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 8,765千円 技術向上、連携強化を図るため、研修・訓練を実施する。 ウ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に参加(毎年開催) 236千円 エ 緊急消防援助隊埼玉県大隊に対する後方支援体制の充実を図るため、物品等を提供する。 551千円 (2) 事業計画 ア 資機材の購入・配備(通年) イ 基礎研修A・B・C、応用研修、合同訓練の実施(通年) ウ 関東ブロック合同訓練(千葉県) エ 物品等の購入・配備(通年) (3) 事業効果 県内外の大規模災害等への地域防災力の強化が図られる。 平成28年度 SMART基礎研修6回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練1回 研修・訓練の参加者912人 平成29年度 SMART基礎研修6回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練2回 研修・訓練の参加者873人 平成30年度 SMART基礎研修6回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練1回 研修・訓練の参加者1015人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 平成28年度からSMART合同訓練では看護学生が要救助者役として参加している。また、訓練参加協力団体から訓練用事故車両の提供を受けた。 (5) その他(前年からの変更点) 埼玉SMART登録隊充実強化事業内容の変更による減(546千円) 訓練開催地、学会開催地の変更等に伴う減(217千円) 緊急消防援助隊後方支援体制充実計画変更に伴う増(38千円)					
	(1) 埼玉県特別機動援助隊充実強化事業 847千円 (2) 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 8,765千円 (3) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練への参加等 236千円 (4) 緊急消防援助隊活動支援費 551千円							
2	事業主体及び負担区分(県10/10)							
3	地方財政措置の状況 なし							
4	事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.2人=20,900千円							
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	10,399						10,399	△1,115
前年額	11,514						11,514	